

スロバキアの首都—ブラチスラバ

(スロバキア) A.D.

スロバキアはとても小さな国で、経済的にも現在発展しつつあるところだから、スロバキアの歴史や観光名所どころか、スロバキアの首都や位置までも分からない外国人がたくさんいる。そこで、スロバキアの首都、ブラチスラバを少し紹介しようと思った。

東京と違って、ブラチスラバでは公園がどこでもあるし、ゆっくりピクニックもできるし、さらに噴水で自由に暑い日、少し遊ぶこともできる。ブラチスラバは、ドナウと言う川を沿って、町を歩くと、多数の宮殿、教会と城の見物ができるので最近とても人気になっている。町を訪ねると、まるでオーストリアのウィーンにいるような感じがする。建物の建築だけではなく、雰囲気も似ている。昔は、オーストリアと一つの国だったので、今でもウィーンのような懐かしい雰囲気を保っているのだ。

実は、日本人の姿が、ブラチスラバの古い町、**旧市街**、でよく見られる。オーストリアからハンガリーへの旅の途中で、数時間スロバキアの首都を訪ねてみた多くの観光客が、“とてもびっくりだ。なぜなら、こんなにスロバキアがきれいで、家庭的な雰囲気があるかなんて全然考えなかった。もっと旅行できればいいな”と言っているからである。

1. プレスバーグ

昔昔（1919年までは）BRATISLAVA はドイツ語でプレスバーグ（PRESSBURG）、ハンガリー語でポジョニ（POZSONY）と呼んで、ヨーロッパ中部で文化センターの一つだった。オーストリアのシシ女王（ELIZABETH）もよくプレスバーグを訪問して、病気にかかった時、数ヶ月スロバキアで治療されていた。

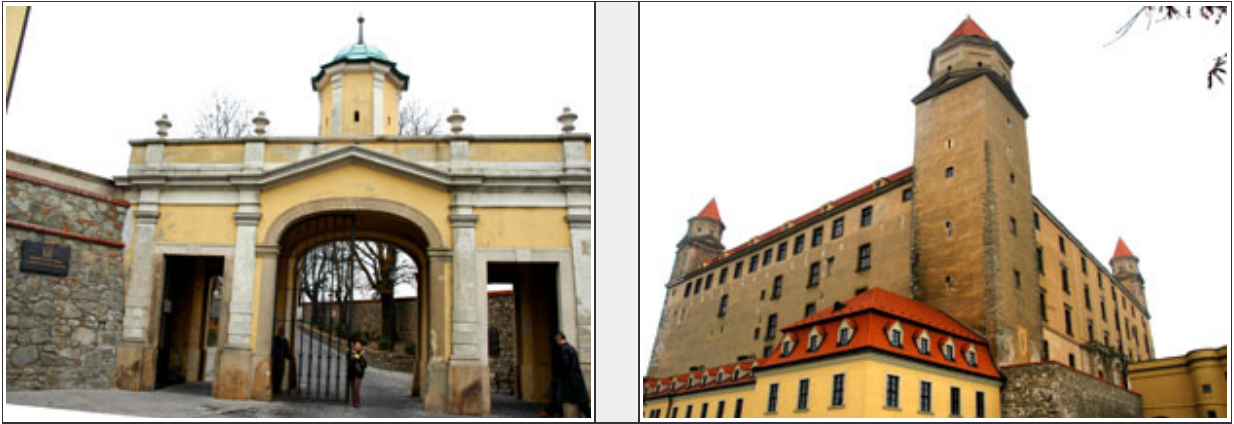
2. 現在

現在は、首都の人口は55万人にもものぼっている。町の境は、オーストリアとハンガリーとの国境になっている。だから、一時間ちょっとで簡単に他の国に行ける。

とても面白い事実は、ウィーンとは川上からわずか60kmしか離れていないので、この二つは世界中で最も近い首都だ。第一世界大戦の前、二つの国だったのだがウィーンとブラチスラバの間に市電があって、簡単に移動することができた。

私にとって一番きれいなところは、**旧市街**という町の一番古い部分だ。オペラ、コンサートホールと美術館以外は、喫茶店やレストランやブランドショップなどで賑わっている。

3. ブラチスラバ城



町のランドマークの一つは城だ。時々、「ひっくり返したテーブル」と呼ばれている。昔の国境を守るため建てられたものだ。85mの高さの丘の上にある城からドナウ川と旧市街がきれいに見える。ヨーロッパのほとんどの国の国王がよく滞在した。

城の庭には、地下室にある井戸は15世紀の物で、（深さは85m）、18世紀までこの井戸は城のたった一つの給水所となっていた。

現在の城には、スロバキア国立博物館がある。とてもロマンチックだから、一番人気の初デートスポットのひとつだ。

4. 旧市街

旧市街は、歴史的にもブラチスラバのハイライトの一つだ。

さらに、店やレストランやカラオケパブなどがたくさんあるので、若者達で賑わっている。旧市街は、様々な建築様式と時代の魅力的な複合からなっている。最も古い部分は、14世紀の塔がある建物だ。昔、この建物には、市議会が行われていた。現在、博物館として保存されて、夏には多数のコンサートや演劇などが行われている。中央城場は様々な様式のモザイクだ。

町の最も古い教会は、13世紀の聖フランシスコ教会だ。中央広場の隣に、フランシスカースケ広場の上部にある。聖フランシスコ教会の北側の壁に付けられた聖ジョン礼拝堂（14世紀）は、ブラチスラバのもっとも重要なゴシック様式の遺産となっている。

フランシスコ教会

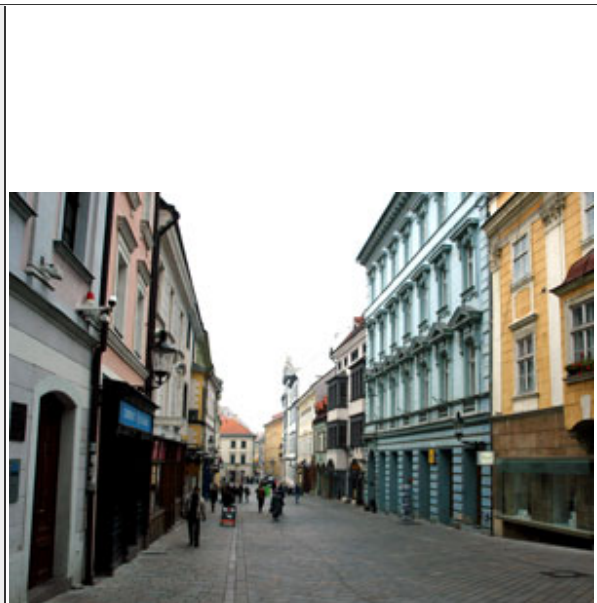


ミハルスカー通りは、ミハル門へ続く。通りの上の部分には、ルネッサンス様式の建物だ。ミハル門はある伝説で有名だ。それは、「大学生が息をとめながら、呼吸せずに門を通り抜けることができたなら、次の試験はきっと合格できる」というものだ。だから、試験の時、何回も何回も顔を赤くして、門を通り抜けようとしている若者達をよく見かける。

ミハル門



門をくぐると旧市街に入る所



5. 青い教会

この青い教会で結婚式を行うのは、ほとんどのブラチスラバの女性の夢だ。青い教会、あるいは聖エリザベト教会とも呼んでいる。



6. 新しい橋—あるいは空飛ぶ円盤 (UFO)

ブラチスラバの近代的なランドマークは、1971年から開通している橋だ。開通したばかりのころ、オーストリア側に住んでいる大勢の人々は、隣のスロバキアにはこのような建物ができたことについて何も知らなかったもので、遠くからみた時、UFO が飛んでいるのを目撃したとっていた。今、最上階には、高級なレストランがあって、そこから町の見晴らしさは息を飲むほどだ。



終わり

終わりに、付け加えたいことは一つしかない。スロバキアの美しさを日本語どころが、スロバキア語でもほめきれないので、できればスロバキアを旅行しに来てください！きっと気に入ると思いますよ！